

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。カシャ!!  
情報交流課 ☎030040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



将棋の駒の動かし方を解説する村田女流二段

### 将棋の歴史や魅力を学ぶ

#### ■男と女のフォーラム

相良総合センターい〜らで2月26日、「男と女のフォーラム」が開催され、村田智穂女流二段が「私が伝える将棋の魅力」と題して講演しました。講演では、前年9月に平田寺で対局が行われた「お〜いお茶杯第63期王位戦七番勝負」第5局の様子や、加藤桃子女流三段（細江区出身、静岡まきのはら大使）に関する情報など、本市にまつわる話題を交えながら、将棋の歴史や駒の動かし方などを解説。「対戦アプリなどもたくさんあるので、ぜひ将棋をやってみて」と呼びかけました。

### 次世代エネルギーの可能性を知る

#### ■水素エネルギー出前教室

2月14日、相良小学校5年生73人を対象に「水素エネルギー出前教室」が開催されました。この教室は、再生可能エネルギーとして注目されている水素を、児童たちにわかりやすく知ってもらおうと、県のエネルギー政策課と静岡ガス株式会社の職員が講師となり行われました。児童は、水素を作り、そのエネルギーを使って物を動かす実験や、水素をエネルギーとして動く燃料電池自動車の試乗や見学など、体験を通して水素について学びました。

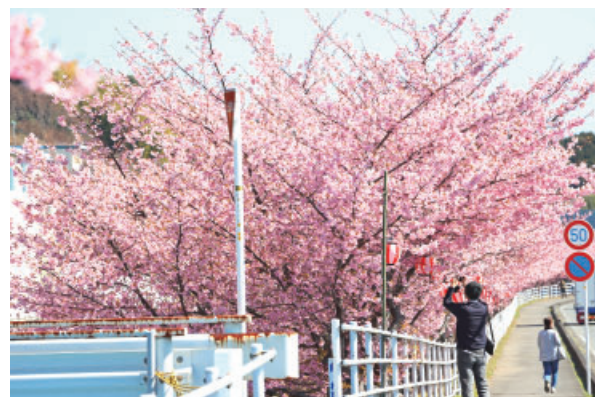


装置を回して制限時間内に水素をつくることに挑戦する児童

### 一足早い春を満喫

#### ■坂口谷川沿いの河津桜が見頃

坂口谷川（坂部区）沿いの約60本の河津桜が、2月下旬に見頃を迎え、鮮やかなピンク色の花が訪れた人の目を楽しませました。2月23・25・26日には、地元住民による「坂口谷川河津桜まつり2023」が、ハイナン農協みかん選果場駐車場で3年ぶりに開催されました。会場では軽トラやキッチンカーが出店して地場産品や飲食物の販売、音楽コンサートなどが行われ、多くの来場者でにぎわいました。また、3月3日まで夜間ライトアップも実施されました。



満開の河津桜の写真を撮って楽しむ来場者



ソウルへの出発便をお見送りするキャラクターと関係者ら

### 約3年ぶりの国際線運航をお祝い

#### ■静岡ーソウル便のチャーター便が運航

富士山静岡空港では、国際線が令和2年3月11日から全便欠航となっていたが、2月25日、2年11カ月ぶりの国際線の運航となる、チェジュ航空（韓国）の静岡ーソウル線のチャーター便が運航されました。これを記念し、当日は静岡牧之原茶のキャラクター「チャーフィン」をはじめ周辺市町のキャラクターが参加して搭乗者に記念品を配布し、お見送り・お出迎えを行うなど、空港内は祝賀モードに包まれました。



本殿にて「御神体」の状態を確認した保存会メンバー

### 御神体を守り五穀豊穡を願う

■県指定無形民俗文化財「一幡神社の御神事」  
一幡神社（菅山区）に伝わる県指定無形民俗文化財「御神事」が、2月11日から12日にかけて行われました。この神事は、五穀豊穡を願い、二十八名と呼ばれる28軒の家が主催となり執り行われる宮座行事で、本殿で1年間守ってきた「御神体」（あられ状の餅）の状態を、今年1年が豊作かどうか占うものです。一幡神社御神事保存会の増田邦彦会長は「時代に合わせたやり方で、末長く継承していくよう努力していく」と力強く話しました。

### 早春の田沼路を3年ぶりに駆ける

#### ■第66回田沼意次牧之原市マラソン大会

第66回田沼意次牧之原市マラソン大会が2月5日、市役所相良庁舎周辺を舞台に開催され、市内外から約400人が出場しました。3年ぶりの開催となったこの大会は、「そろりスタート」を合言葉に、2kmの部と5kmの部のみの実施とし、タイム計測や表彰を行わないイベント性の高い大会として開催されました。出場者は、晴天に恵まれた早春の田沼路を思い思いのペースで駆け抜け、沿道からは温かい声援が飛び交いました。



号砲とともに一斉にスタートする2kmの部の出場者

### 全国の舞台での活躍を誓う

#### ■全国大会出場選手が市役所を表敬訪問

各競技で全国大会への出場を決めた市内在住の児童・生徒らが、杉本市長や大石副市長、橋本教育長のもとを訪れ、全国大会への出場決定を報告するとともに、大会での活躍を誓いました。市役所を訪れたのは、ソフトテニスの田中楓さん（菅山小4年）、硬式野球の滝口陽喜さんと増田悠祐さん（ともに榛原中2年、島田ボーイズ所属）、剣道の加藤心那さん（池新田高2年）です。各競技の全国大会は3月下旬から4月にかけて、各地で開催されます。



「今まで練習してきたことを発揮して、頑張って勝ちたい」と話した田中さん（中央）



「全国レベルの投手からヒットを打ちたい」と話した滝口さん（左）と「チームの勝利に貢献したい」と話した増田さん（右）



「県大会で2位だった悔しさと、コロナ禍で全国大会がなくなった兄の悔しさもぶつけて頑張りたい」と話した加藤さん（右）